



# 安全データ シート

2021年3月16日

## §1. 製品および会社情報

製品名 : スプレー パステル フィキサチフ (O 601)  
 スプレー ハンディー パステル フィキサチフ (O 621)

会社名 : ホルベイン工業 (株)  
 住所 : 542-0064 大阪市 中央区上汐 2-2-5 (本社)  
 電話 : 06-6191-7722

担当部署・緊急連絡先 : 技術部  
 住所 : 579-8063 東大阪市 横小路町 4 丁目 10 番 52 号  
 電話 : 072-985-1221  
 作成者 : 荒木豊

## §2. 危険有害性の要約

危険分類 : 区分 2/引火性の高いエアゾール  
 物理的及び化学的危険性 : 製品は高圧ガスを封入した容器形態なので、高温加熱や強い衝撃により破裂する危険性がある。内容液自体は可燃性なので、火源の存在下にて燃焼する。

急性毒性 : 区分 5 (吸入での有害のおそれ)  
 皮膚刺激性 : 区分 3  
 眼球影響 : 区分 2A  
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 3、麻酔作用  
 呼吸器感作性 : 区分 1



## §3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物 (\*印主成分)

組成 (化学名又は一般名)	化学式又は構造式	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
アクリル樹脂	-	25852-37-2	-
メチルシクロヘキサン	C7H14	108-87-2	(3)-2230
ジメチルエーテル (噴射剤)	CH3OCH3	115-10-6	(2)-360
液化石油ガス (LPG、噴射剤)	混合物	74-98-6、106-97-8、75-28-5	

## §4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で 5 分以上洗った後、医師の手当を受ける。  
 皮膚についた場合 : 皮膚についた部分を水および石鹸で洗い流す  
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にする。  
 飲み込んだ場合 : 容器の形態上、嚥下事故はあり得ない

## §5. 火災時の措置

消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消化剤を使用して消化する。  
 密閉容器の圧力の上昇を防ぐために、散水により冷却する事が必要  
 消火剤 : 炭酸ガス、粉末、泡消火剤

## §6. 漏出時の措置

漏出時の措置 : 換気を行う。全ての火気と着火源を排除する。流出した液はウエースなどで拭き取る。漏出部を上向きにし、噴射ガスの噴出を助ける

## §7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼や体内に入らぬよう注意する。皮膚に長時間あるいは繰り返し触れないようにする。蒸気を吸い込まぬようにする。取り扱い後は手洗いを励行する。火災爆発の防止などの考慮は要らない。

保管 : 取り扱い面で殊に注意すべき点はない。

## §8. 曝露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 必要に応じ、有機ガス用防災マスクまたは換気マスクを着用する。

曝露防止 : 必要に応じ、安全メガネ、ゴーグルを着用する。

## §9. 物理的および化学的性質

形状 : 透明液体 (内容物)

色 : 無色

臭気 : 石油臭

pH : -

物理的状態が変化する特定の温度 (沸点、沸騰範囲、融点)

沸点 : 101℃ (内容物)、-42.1~-0.5℃ (噴射剤)

引火点 : -4.3℃ (内容物)、-41℃ (噴射剤)

発火点 : 260℃ (メキシカン)

燃焼範囲、爆発特性 (爆発限界) : 適用外

蒸気圧 : 48 hPa (メキシカン)

比重 : 0.804 (20℃)

溶解性 (溶媒に対する溶解性) : 水に不溶

## §10. 安定性及び反応性

燃焼性 : 高可燃性

容器内圧 : 約 4.2kg/cm (25℃)

安定性 : 通常の実用条件下で安定 (内容物)。40℃以上になるとガス圧が高まり、容器変形・破裂の危険性が生じる

反応性 : ない

避けるべき条件・避けるべき材料 : 特別にはない

分解生成物 : 二酸化炭素、水

## §11. 有害性情報

### 急性毒性

経口毒性 : 誤って飲み込んだり吐き出したりする際、呼吸器系に吸入された気体が気管支炎や肺水腫を起こす事がある。

(実際には、容器の形態上、嚥下事故を起こす事は無い。)

吸入毒性 : 高濃度の蒸気は目および呼吸器官を刺激し、頭痛やめまいを誘発させる事がある。麻酔性があり、他の中枢神経系に影響を及ぼす事がある。シクロヘキサンについては、米国では腐食剤として警告表示が義務づけられている。

局所効果 (皮膚、目などへの腐食性・刺激性)

眼球への重篤な損傷性/眼刺激性 : 粘膜に刺激があり、炎症を伴う。

経皮毒性 : 体質により、刺激を感じ、アレルギー反応を示し、何度も繰り返して (あるいは長時間) 接触すると、皮膚炎を起こす事がある。

発癌性、蓄積性、魚毒性 : 不明  
感作性、慢性毒性・長期毒性、変異原性・催奇形性・生殖毒性 : 知見無し

---

## §12. 環境影響情報

環境への影響 : 知見なし  
生態毒性・残留性・分解性・生体蓄積性・土壌中の移動性 : データなし

---

## §13. 廃棄上の注意

廃棄 : ガスの入った容器を、そのまま廃棄すると違反となる。ボタン (アクチエーター) を押して中身を噴出させ、必ず容器胴上に穴を開けてガス抜きした後、スプレーに関する地方および国の関連法規に従って処分する。

---

## §14. 輸送上の注意

輸送に関する国内規則 : 危険物第4類第1石油類に関する一般的な注意による  
国連輸送名 : エアゾル (スプレー)  
国連分類 : 2.1  
国連番号 : 1950  
容器等級/パッキンググループ : 適用外

---

## §15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類 第1石油類 非水溶性 (登録番号 4021-143328)  
労働安全衛生法 : 危険物 : 引火性のもの  
高圧ガス取締法の適用を除外される液化ガスを定める件  
有機則 (有機溶剤中毒予防規則) : 適用されない (第1条・1で指示された労働安全衛生法施行令・別表6の2の物質に該当しない)  
特化則 (特定化学物質障害予防規則) : 適用されない  
毒劇法 (毒物劇物取締法) : 適用されない  
規制・適用内容 : 危険物の規制に関する規則第41条以下の法規に従う

---

## §16. その他

- \* 本シートは、製品を安全にご使用頂く為に必要な注意事項をまとめたもので、通常的な取り扱いを対象としています。使用方法は、これをご参照の上で使用者の責任に置いてお決め下さい
- \* 記載内容は情報提供であって、いかなる保証を与えるものではありません
- \* 記載情報は当社所有の情報によっていますが、その完全さを保証するものではありません
- \* 記載内容は法令の改定や新しい知見によって変わる事があります